

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立中学校給食検討委員会				
事務局 (担当課)		学校保健課 電話042-769-8283(直通)				
開催日時		平成25年6月7日(金) 午後1時~4時				
開催場所		相模原市役所第2別館 5階 教育委員会室				
出席者	委員	11人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	5人(学校保健課長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議題 (1) 会長・副会長の選任について (2) 教育委員会からの諮問について (3) 中学校給食の現状と課題について (4) 他市の中学校給食の状況について (5) その他 5 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

開会に先立ち、岡本教育長から各委員に委嘱状を交付した。

1 開会

2 あいさつ

学校保健課長あいさつ

3 自己紹介

委員及び事務局の自己紹介

4 議題

(1) 会長・副会長の選任について

事務局より相模原市立中学校給食検討委員会の概要を説明し、その後会長・副会長の選任を行った。

吉岡委員を会長に、黒瀧委員を副会長として推薦があり、全会一致で会長・副会長が承認された。

(2) 教育委員会からの諮問について

教育委員会からの諮問について、事務局から内容を読み上げ、会長に諮問書を渡した。

(3) 中学校給食の現状と課題について

(4) 他市の中学校給食の状況について

議題3及び4について、事務局より一括して説明を行った。

弁当持参が許可された経緯は。

保護者から弁当を持参させたいとの声もあり、お弁当を作ることにより子どもとのコミュニケーションが図られ、相模原市立中学校給食あり方懇話会(以下「懇話会」という。)において、持参弁当の効用を生かした給食と持参弁当の選択制を検討してほしいという報告があり、結果として併用制となったものである。

相模原市の形態は、完全給食と言えるのか。

法的には、学校給食の実施対象は、在学するすべての生徒に対して実施されるものとなっているが、主食、副食、ミルクの完全給食について、門戸をすべての生徒に対して開いていることから、完全給食としている。

アンケート調査を実施しているが、統計学的にはサンプル数が少ないのでは。

相模原市学校給食運営協議会の中の中学校給食運営委員会の意見を聞いて、調査したものであり、デリバリー校30校のうち、6校ずつ5年間かけて順次アンケート調査を継続してやることとしたため、今回の資料は平成24年度に実施したアンケート結果である。

県内では、小田原市や厚木市、大和市などが、完全給食100%となっているが、相模原市との違いは。

相模原市は、昭和40年代から50年代にかけての人口急増期に学校建設が集中したが、給食室の整備までは建設することができなかった。市町合併もあって現在の形態になっている。

アンケート調査を実施する場合、もう少し現状が分かるような調査を行った方が良い。その結果を解析することも必要である。

議題3及び4に関する質疑が終了し、今後の検討に当たり、各委員から中学校給食について考えを述べていただいた。

給食は、教育の一貫であり、家庭からの弁当は制限するべきである。新潟市でもランチルームなどがあっても6割の喫食状況のようである。アレルギーや宗教上の理由などがなければ、保護者に理解していただき、全員が給食とする方が良い。

給食は、バランスが取れている。弁当では、好きなものを食べている。極論から言えば、すべての生徒が統一した給食で、弁当がない方が良い。ただし、その場合施設の負担も生じる。好きなもの、嫌いなものを食べるのがいいのではないか。保護者の立場としては、給食の完全実施でも良い。

子どもが入学したとき、全員給食を食べるのかと思っていたが、そうでもなかった。毎月、注文しなければいけないことも大変である。おかずだけの注文もできない。友達が弁当になっていると、給食に戻りたがらなくなる。周りの友達が注文していないと、注文しなくなる。業者によっても作り方が違う。業者との契約期間も5年ではなく、もっと短くしてもいいのではないか。

選択制になっていると、給食を食べない。残すもったいないという気持ちもある。ご飯の量の選択制があれば、子どもも注文するなど、もっと違った結果になっていたかもしれない。アレルギーのある子どもの場合、もう少しアレルギーの詳細な内容をホームページに掲載することはできないか。情報をもっと簡単に見ることができるようにした方が良い。

はやぶさ給食のようにイベント的にするのもいいのではないか。国フェアなど、日本の食育や世界の食育なども考えてはどうか。

子どもが給食を頼んでいた時、ごはんが臭いということが当初あったが、弁当箱が変わってそれ以降は聞かなくなった。薄味でもあり、子どもに好き嫌いがあり、弁当にしていた。親としても嫌いなものを細かくするなどして弁当を作り、嫌いなものを入れる努力もしていた。ただし、給食は、バランスが取れているのもわかる。

城山の給食センターは、旧市に近いところに位置している。合併の経過もあり、制度がひとつにならない。同じ市の中で、2つの給食方式があることはどうなのかと感じる。デリバリー給食が始まるまでは、100%ミルクも飲んでいて、給食を頼まないとミルクも届かない制度になっている。ミルクは頼まないと届かないということに気づかなかった。カルシウムの摂取は、小中学生にとってとても大事である。せめて、ミルク給食だけでも、100%であってほしい。

給食は、安心であり、親も注文してあれば、朝の忙しい時間に弁当を作らずに済み、楽な面もある。ご飯、おかず、ミルクがそろっていて、300円で安いという保護者もいる。アレルギーの生徒がいる中で、完全給食となったとき、全員に対応できるのか、学校として不安がある。保護者が、よく献立を見て、十分チェックして注文する必要がある。細かいアレルギーまで対応するには、学校には不安がある。

給食の予約システムが浸透していない。特に、1年生が良く分かっていない。新入生の説明会でもう少し理解してもらう必要がある。給食センターでは、温かい汁物が出てくるので、のどに詰まりそうなときは良かった。異物混入したときもデリバリーの業者は、すぐに来て丁寧な対応をとってくれた。栄養バランスは、いいのではないか。完全給食となったとき、量の多い少ないということへの対応は難しい。センターでは、食缶のため、少し余ればそれでお代わりができる。センターでは、リクエスト給食があった。メニューに子どもの目がいくので、食育とメニューを結び付けていくこともできるのではないか。

学校現場としては、給食配膳室が設置され、あっという間にデリバリー給食が始まったという印象が強い。以前は、愛情のこもった弁当を作ってくださいといていたが、全員デリバリーとなると方針が変わったことになる。全員が給食になると、未納者の問題が出てくる。

業者選定も1ヶ月程度で何社か入れかえて、どこがよかったかアンケートをとることはできないか。給食のメニューに小学校の目玉商品を入れることにより、内容を魅力的なものにしていく。全員が食べるのなら、バランスが取れて、魅力ある給食作りが必要である。

ミルク給食の完全実施、完全給食の完全実施、除去食対応が理想である。アレルギー除去もどこまでできるのか、予約の時点でどこまで表示するのか。1食作るのも3食作るのも同じなので、弁当にしているという保護者もいる。3.11以降食材による内部被爆の問題もある。現在の選択制はいい部分もあるが、喫食率は下がっている。意識・改善を図っていく必要があるのではないか。

食育の観点からも栄養教諭の責任も大きい。配膳室が各学校に整備されているが、温める設備は可能なのか検討する必要がある。

汁物を提供するかしらないかによっても違ってくるのではないか。給食を食べる機会が増えていくことはいいことではないか。

アンケートをどこまでやっていくのか。喫食率を上げていくべきなのか。弁当を認めるのであれば、上げなくてもいいのではないか。

デリバリーを開始してから、以前よりコンビニ弁当を持ってくる生徒は減った感じがする。私立では、学校の規則でコンビニ弁当を禁じているところもある。

バランスが取れている給食なので、個人的には自由度があった方がいいのではと考える。弁当を持ってくる生徒も、1品は自分で作って、親子で弁当を作っている家庭もある

週2回は全員給食、その他は弁当でも給食でも自由な方法とするなど、親も体を休めるというやり方をしているところもある。

日本人は、カルシウムや鉄が不足している国民性がある。

これ以上喫食率が下がってしまうと、デリバリー給食そのものが維持できないということはあるのか。

食数が増えれば、業者としては儲けがある。あまりに喫食率が下がり、業者も魅力がないと、手を引いてしまう可能性はある。

2回目に向けて、今回の意見を整理していただき、アンケートを実施するにも無作為ではなく、収集の仕方も検討する必要がある。

(5) その他

次回の日程については、会長・副会長と相談し決定する。

5 閉会

以 上

相模原市立中学校給食検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	吉岡 有紀子	相模女子大学栄養科学部	会 長	出席
2	伊与 亨	北里大学医療衛生学部		出席
3	小嶋 理史	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
4	小関 和代	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		欠席
5	堺 千里	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
6	水野谷 珠世	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
7	高原 麻美	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
8	黒瀧 直行	新町中学校	副会長	出席
9	北村 正弘	青野原中学校		欠席
10	小泉 勉	旭中学校		出席
11	山本 真	相武台中学校		出席
12	朴木 昇	弥栄中学校		出席
13	高橋 純子	城山学校給食センター		出席
14	高橋 陽子	公募		欠席